

# 2007年1月の東北地方の天候

## 【1月の特徴】

- ・記録的な高温、少雪
- ・上旬の大雨、暴風

### (1) 2007年1月の概況

この期間、寒気の南下はほとんどなかった。西高東低の強い冬型の気圧配置となることは少なく、平年に比べ気温の高い日が続き、東北地方の多くの地点で1月の平均気温の高い値の極値や、降雪量と最深積雪の少ないほうからの極値を更新した。上旬には低気圧の北上と、一時的な強い冬型の気圧配置のため大荒れの天気となり、6日は大船渡で113.5mm、宮古で117.0mmの日降水量を観測し、1月の極値を更新した。また7日は八戸で34.2m/s（北北西）の最大瞬間風速を観測し、1月の極値を更新した。

月平均気温は東北地方でかなり高い。月降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。月間日照時間は、東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。月降雪量は東北地方で19%とかなり少ない。

### (2) 各旬の天候経過

**上旬**：期間の前半は冬型の気圧配置が弱く晴れのところが多かったが、期間の後半は低気圧や強い冬型の気圧配置の影響で雪や雨となるところが多かった。6日夜には低気圧が三陸沖を急速に発達しながら北上し、また7日から8日にかけては強い冬型の気圧配置となって大荒れの天気となり、強風害、強雨害、浸水害、鉄道の運休など各地で被害が出た。

平均気温は東北北部でかなり高く、東北南部で高い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。降雪量は東北北部で6%とかなり少なく、東北南部で23%と少ない。

**中旬**：期間の前半は冬型の気圧配置が続き、東北日本海側では曇りや雪または雨となったところが多く、東北太平洋側沿岸では晴れのところが多かった。期間の後半は時々冬型の気圧配置が弱まり、17日には本州南岸の前線の影響で東北日本海側南部で曇りや雨または雪となったところがあり、20日には高気圧が張り出し晴れのところもあった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。降雪量は東北日本海側で58%と少なく、東北太平洋側で13%とかなり少ない。

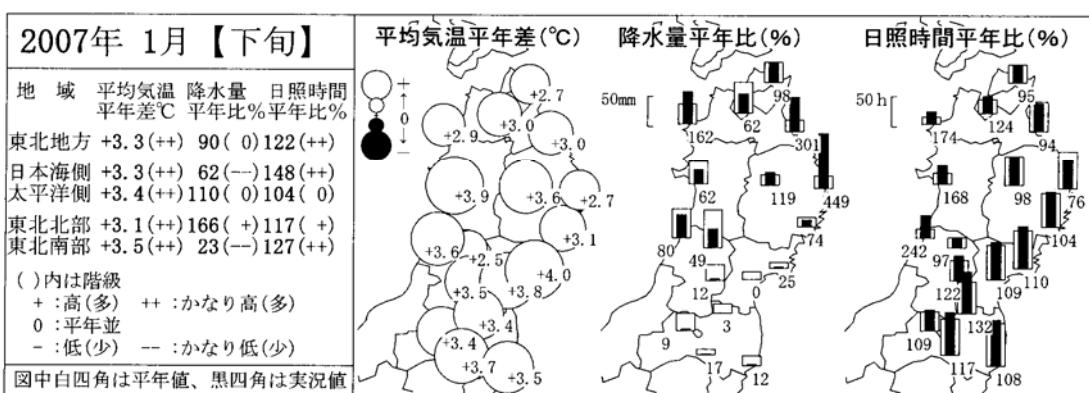
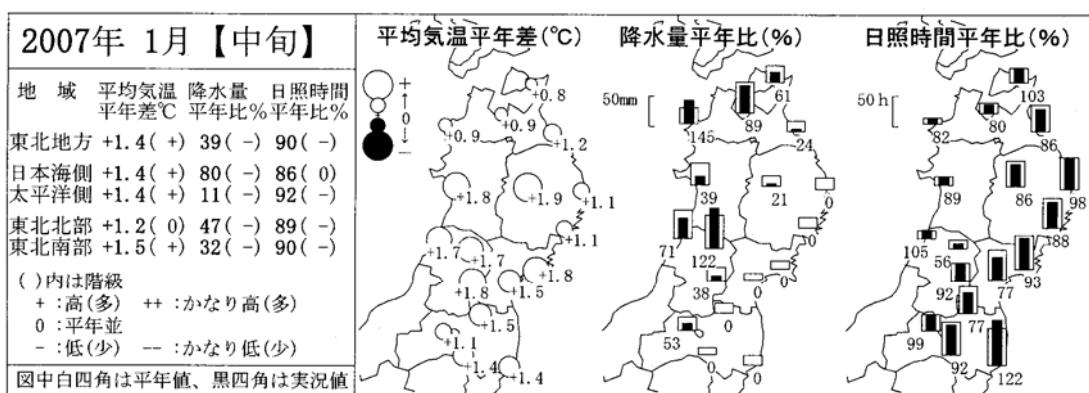
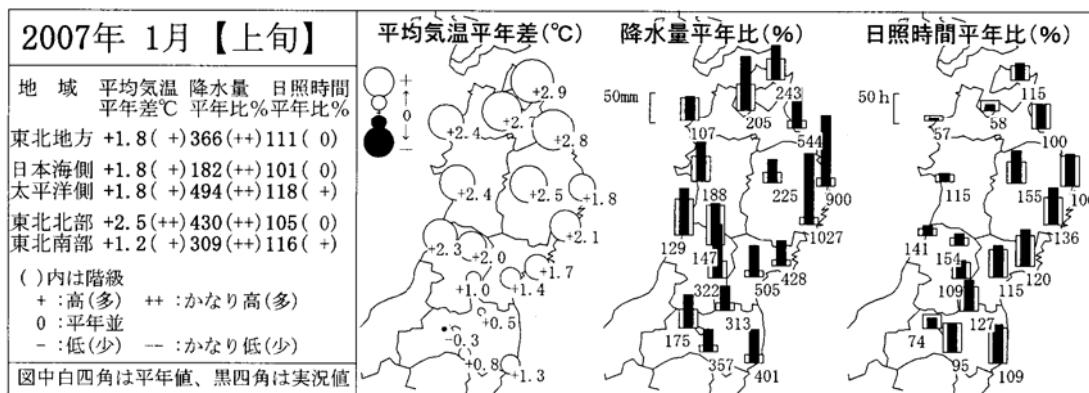
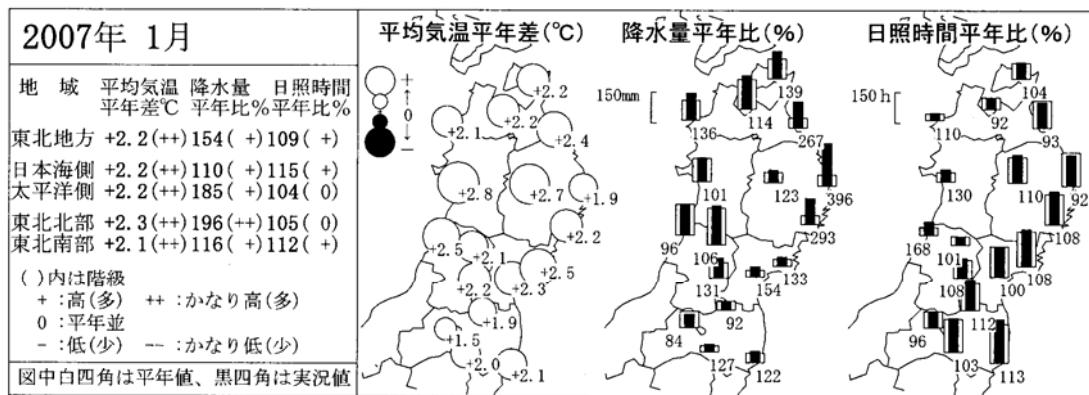
**下旬**：期間の前半は、弱い冬型の気圧配置となる日が多く東北日本海側を中心に曇りや雪または雨となったところが多かった。その後は、冬型の気圧配置とならず気温が高い日が続いた。また、低気圧が日本海や南岸沖を通過し、27日には雨や雪となったところが多かった。平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北北部で多く、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。降雪量は東北地方で9%とかなり少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。  
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2007年1月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

#### (4) 2007年1月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)	階級	降水量(平年比)	階級	降水日数	日照時間(平年比)	階級	降雪深さ(平年値)	階級	最深積雪(平年値)	階級
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)	≥1mm	(h)	(%)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)
青 森	0.8 (+2.2)	+	164.5 (114)	○	20	52.1 ( 92)	○	88 ( 250)	-*	40 ( 86)	-
深 浦	1.7 (+2.1)	+	131.5 (136)	+	19	34.3 ( 110)	○	48 ( 123)	-*	21 ( 31)	-
む つ	0.6 (+2.2)	+	133.0 (139)	+	13	80.0 ( 104)	○	63 ( 175)	-*	19 ( 47)	-*
八 戸	1.2 (+2.4)	+	128.5 (267)	+	6	125.0 ( 93)	-	14 ( 95)	-*	3 ( 18)	-*
秋 田	2.7 (+2.8)	+	115.0 (101)	○	14	57.9 ( 130)	+	25 ( 142)	-*	5 ( 31)	-*
盛 岡	0.6 (+2.7)	+	62.0 (123)	+	8	136.4 ( 110)	+	19 ( 106)	-*	8 ( 27)	-*
大 船 渡	2.9 (+2.2)	+	127.5 (293)	+	4	160.7 ( 108)	+	- ( 23)	-*	- ( 7)	-*
宮 古	2.1 (+1.9)	+	208.5 (396)	+	4	150.9 ( 92)	-	2 ( 43)	-*	1 ( 12)	-*
仙 台	3.8 (+2.3)	+	51.0 (154)	+	3	151.2 ( 100)	○	- ( 29)	-*	0 ( 11)	-*
石 卷	3.0 (+2.5)	+	44.0 (133)	+	2	180.5 ( 108)	+	- ( 13)	-*	- ( 8)	-*
山 形	1.7 (+2.2)	+	99.0 (131)	+	10	97.1 ( 108)	○	53 ( 163)	-*	25 ( 37)	-
新 庄	0.8 (+2.1)	+	192.5 (106)	○	21	43.4 ( 101)	○	159 ( 283)	-*	50 ( 97)	-*
酒 田	4.0 (+2.5)	+	147.0 ( 96)	○	21	66.9 ( 168)	+	14 ( 138)	-*	3 ( 27)	-*
福 島	3.3 (+1.9)	+	40.5 ( 92)	+	4	153.4 ( 112)	+	7 ( 86)	-*	7 ( 18)	-
若 松	0.8 (+1.5)	+	68.0 ( 84)	○	6	77.9 ( 96)	○	46 ( 185)	-*	26 ( 44)	-
白 河	2.2 (+2.0)	+	39.0 (127)	+	3	165.3 ( 103)	○	1 ( 58)	-*	1 ( 14)	-*
小 名 浜	5.7 (+2.1)	+	56.5 (122)	+	2	213.9 ( 113)	+	- ( 5)	-	- ( 3)	-*

(注) 1. 年平均は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

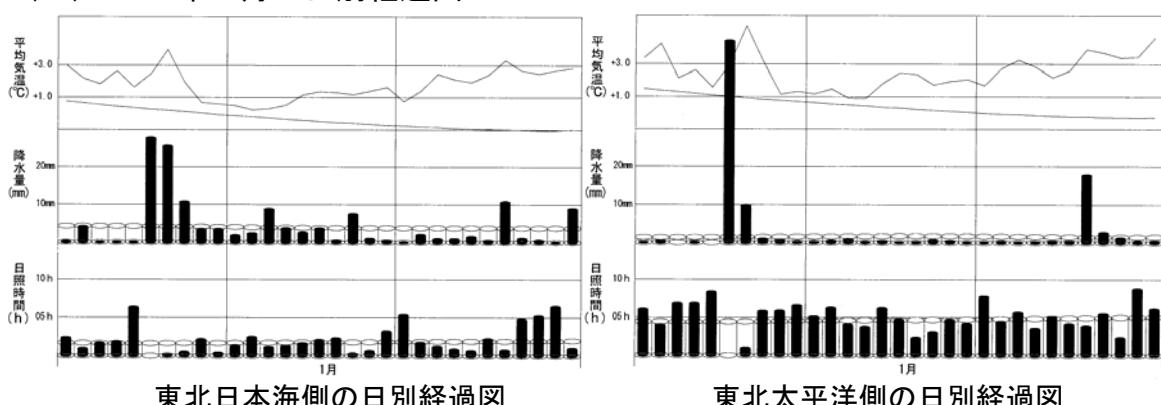
各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に\*を付加した。この場合には  
かなり高い(多い) カなり低い(少ない)  
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に ) や ] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。  
)付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。  
なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

#### (5) 2007年1月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均(気温:実線と点線、降水量・日照時間:黒い円柱と白抜き円柱)

## (6) 2007年1月の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間の3位まで。)

### 月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	大船渡	2.9	+2.2	2.6 (1973)	1964	0.7
	新庄	0.8	+2.1	0.5 (2000)	1958	-1.3
	深浦	1.7 =	+2.1	1.7 (1973)	1940	-0.4
	むつ	0.6 =	+2.2	0.6 (1991)	1935	-1.6
	八戸	1.2	+2.4	1.1 (1949)	1937	-1.2
	秋田	2.7	+2.8	2.2 (1949)	1886	-0.1
	盛岡	0.6	+2.7	0.5 (1949)	1924	-2.1
	酒田	4.0	+2.5	3.6 (1949)	1937	1.5
	仙台	3.8	+2.3	3.6 (2000)	1927	1.5
2	青森	0.8	+2.2	0.9 (1903)	1886	-1.4
	山形	1.7	+2.2	1.8 (1949)	1891	-0.5
	石巻	3.0	+2.5	3.3 (1949)	1888	0.5
	小名浜	5.7 =	+2.1	5.9 (1989)	1911	3.6
3	宮古	2.1 =	+1.9	2.8 (1949)	1885	0.2

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

### 月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	宮古	208.5	396	216.2 (1903)	1885	52.6

### 月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	酒田	66.9	168	64.8 (1954)	1937	39.9

(注) 値の横に]がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。

平年値とは1971~2000年の30年間の値を平均したものである。

## (7) 降雪の深さの最少値・月最深積雪の最小値の更新

降雪の深さの月合計値 最少値の更新

地点名	降雪の深さの月合計 cm	これまでの最小 cm (西暦年)	開始年	平年値
青森	88	96 (1989)	1953	250
むつ	63	74 (1971)	1953	175
秋田	25 =	25 (1972)	1953	142
仙台	—	1 (1970)	1953	29
石巻	—	1 (1986)	1953	13
福島	7	9 (1970)	1953	86
白河	1	2 (1957)	1953	58

月最深積雪 最小値の更新

地点名	最深積雪 cm	これまでの 最小値 (cm)	開始年	平年値
八戸	3 =	3 (1983)	1961	18
秋田	5	6 (1903)	1890	31
酒田	3	4 (1972)	1937	27
仙台	0	1 (1970)	1927	11
石巻	—	1 (1999)	1961	8
白河	1	3 (1985)	1961	14

(注) 昨冬までの最少(小)が「0cm」または「-」(現象なし)の場合は除く。

「-」は現象がなかったことを表す。

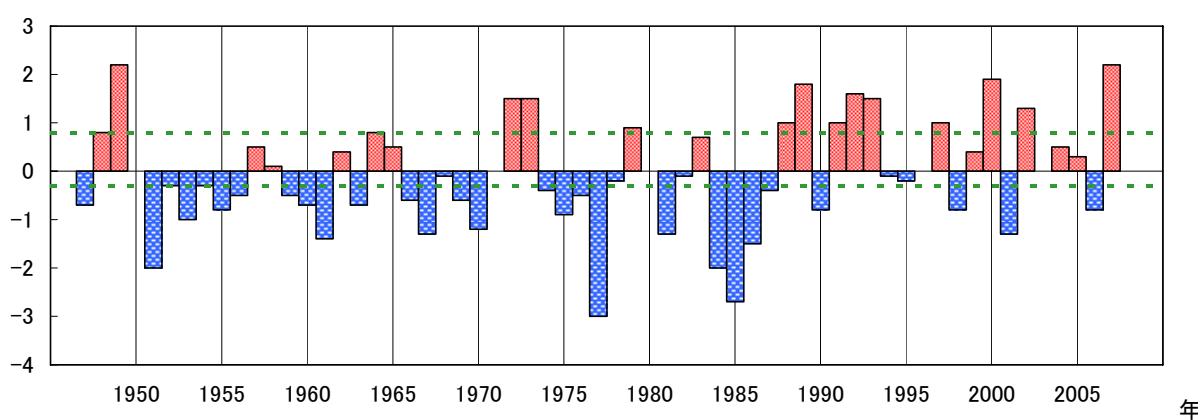
順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

平年値とは1971~2000年の30年間の値を平均したものである。

## (8) 東北地方の1月平均気温平年差の経年変化

(°C)

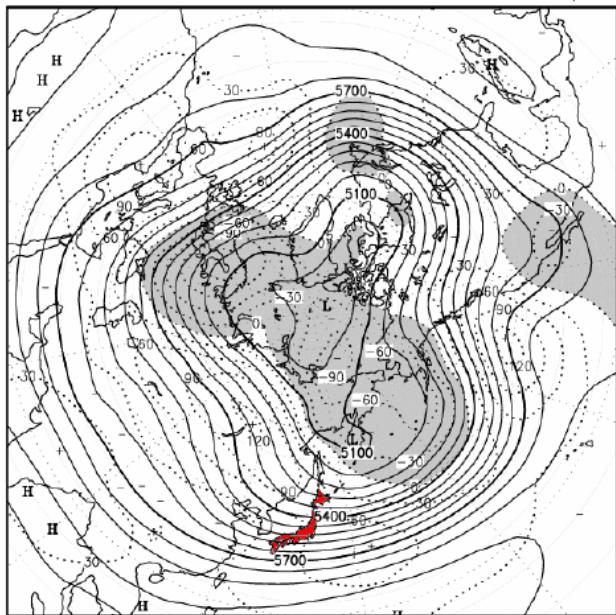
東北地方の1月平均気温平年差の経年変化(1946~2007年)



## (9) 循環場の特徴

1月の500hPa高度では、極付近に負偏差がまとまり寒気蓄積傾向が続き、極東の高緯度は東シベリアが負偏差となって、日本付近（中緯度帯）への寒気の南下は弱かつた。また、日本付近ではバイカル湖付近を中心を持つ正偏差域と、エルニーニョ年に特徴的な日本の南東海上に中心を持つ正偏差域に覆われ、暖かい空気に覆われやすかった。

日本付近の冬型の気圧配置は平年に比べ弱かつたため、東北地方は気温が高い日が多く降雪量は少なかつた。



1月の平均 500hPa 高度

実線は等高度線：60m 每、点線は偏差：30m 每  
陰影部は負偏差（寒気に対応）